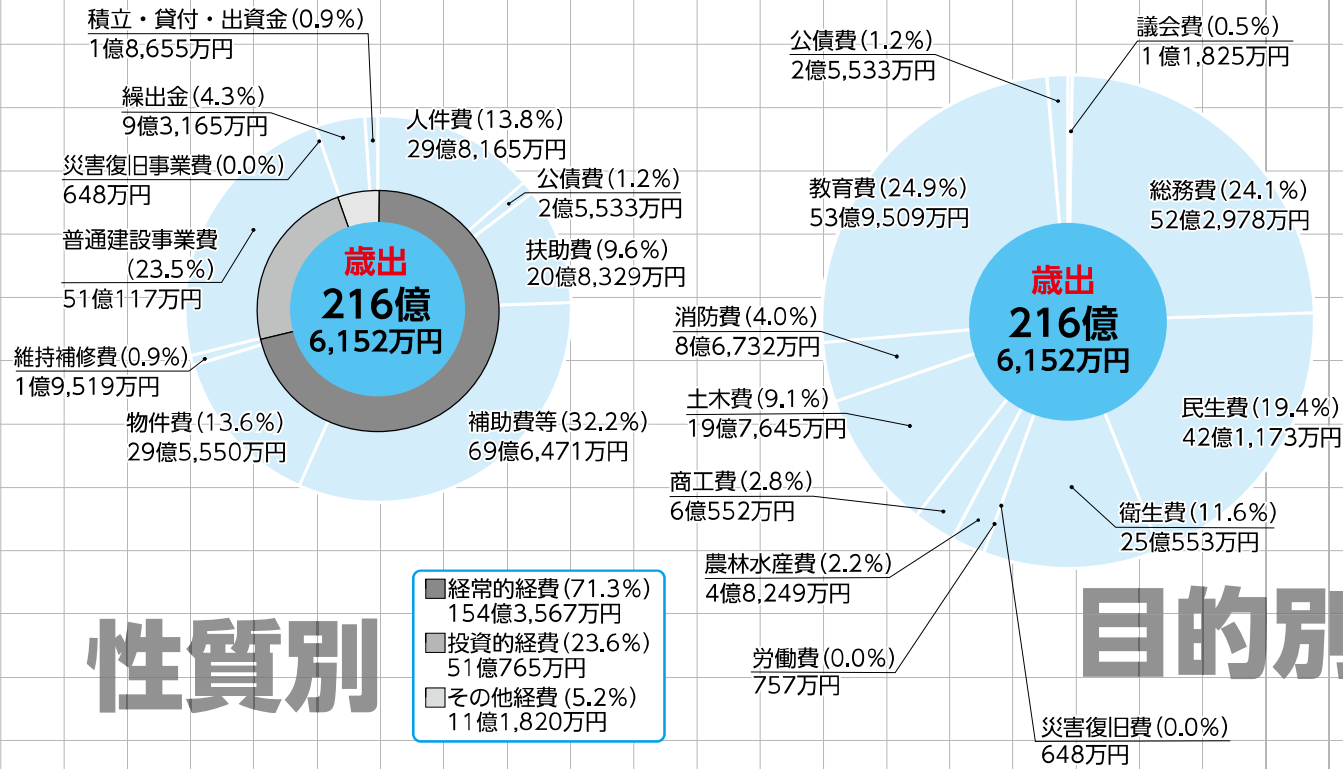
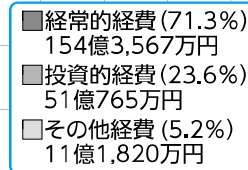


前年度よりも31億2,987万円増額

# 歳出 216億6,152万円



# 性質別



## 各会計決算総括表

区分	歳入 (A)	歳出 (B)	差引 (A)-(B)
一般会計	2,209,347	2,166,152	43,195
特別会計			
国民健康保険	385,858	381,181	4,677
後期高齢者医療保険	35,783	34,794	989
介護保険	281,353	273,649	7,704
工業団地建設事業	707	693	14
企業会計			
水道事業	98,286	95,922	2,365
資本的収支	12,463	32,009	△ 19,545
下水道事業	131,011	127,913	3,098
資本的収支	27,781	48,264	△ 20,483
病院事業	557,544	579,189	△ 21,644
資本的収支	5,645	21,443	△ 15,798

※表示単位未満を四捨五入しているため、差し引きや合計が一致しない場合があります。

## 市の財政状況

区分	実質赤字	連結実質赤字	実質公債費	将来負担
市の比率	-	-	0.0	-
早期健全化基準 (黄色信号)	13.54	18.54	25.0	350.0
財政再生基準 (赤信号)	20.0	30.0	35.0	-

※実質赤字、連結実質赤字は赤字がないため将来負担はなく、算出されないため「-」の表示。

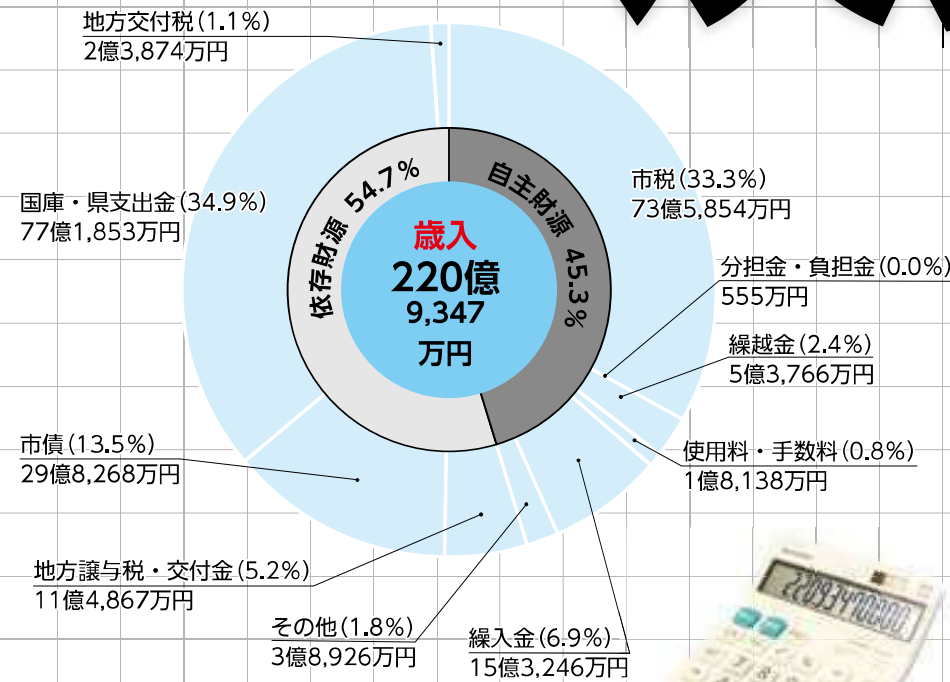
区分	水道事業	病院事業	下水道事業	工業団地建設事業
市の比率	-	-	-	-
経営健全化基準			20.0	

※市の公営企業会計は、資金不足額がないため「-」の表示。

前年度よりも30億2,416万円増額

# 歳入 220億9,347万円

# 決算



※表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

令和2年度の決算がまとまりました。一般会計の歳入総額は220億9,347万円、歳出総額は216億6,152万円となり、過去最大の事業規模となりました。  
照会 財政課 ☎0537-1112



## 決算の概要

令和2年度の一般会計の歳入総額は220億9,347万円、歳出総額は216億6,152万円となりました。歳入と歳出の差のうち、翌年に繰り越すべき財源である1億8,444万円を除くと、2億4,751万円の実質黒字となります。しかし、前年度からの純繰越金や基金の取り崩しが7億8,730万円あることから、実質単年度収支としては5億2,526万円の赤字となっています。

## 未来を見据えた財政運営

歳出総額から計算すると昨年度は、市民1人当たり約69万円が使われたこととなります。事業では、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からイベントなどが中止となった一方で、落ち込んだ市内経済対策の実施や感染予防対策を重点的に取り組みました。また、予定されていた浜岡中学校や新学校給食センターなどの大規模な整備は順調に進み、令和3年度には無事完了することができました。今後は、ポストコロナへと変化する社会情勢に向け、健全

## 歳入

令和2年度の歳入は、前年度よりも30億2,416万円増額となりました。内訳は、税収などの自主財源が45.3%、国や県の補助金などに頼った依存財源が54.7%です。自主財源は市税や財政調整基金の繰入金金の減少により、前年度に比べ11億9,455万円減額となりました。依存財源は、市債や国庫・県支出金が前年度に比べ40億3,254万円増額となり、全体としては41億3,362万円の増額となりました。

## 歳出

令和2年度の歳出は、前年度より31億2,987万円増額となりました。令和2年度の主要事業とその決算額は、特別定額給付金やプレミアム商品券の販売など新型コロナウイルス感染症対策に係る事業に37億4,700万円、浜岡中学校および給食センターの整備に31億7,200万円、市道整備事業に3億8,287万円、市民プールの改修工事に2億6,152万円となっています。